

平成 23 年 10 月 11 日

雲南市議会議長 藤原 政文議長 様

産業建設常任委員会委員長 山崎 正幸

## 産業建設常任委員会行政視察研修報告

下記のとおり視察を行いましたので、その結果を報告します。

### 記

1. 期 間 平成 23 年 10 月 6 日（木）～7 日（金）

2. 視察先 1. 阪急オアシス尼崎潮江店（兵庫県尼崎市）  
2. いかりスーパー塚口店（兵庫県尼崎市）  
3. 嵐山保勝会の小水力発電（京都府京都市）  
4. 智頭町の木の宿プロジェクト（鳥取県智頭町）

3. 参加者 産業建設常任委員会  
山崎 正幸委員長、安井 誉副委員長、吉井 傳委員、  
小林 眞二委員、周藤 強委員、土江 良治委員、高橋 雅彦委員

#### 随行職員

総務部 原修統括技師、議会事務局 原淳夫副主幹

4. 研修内容

1. J A 雲南の産直市の取組みを視察  
2. 奥出雲和牛を取り扱っている県外大口店舗を視察  
3. 小水力発電に取り組んでいる団体を視察  
4. 木質バイオマスへの取組みを視察

## 5. 研修まとめ

### 1. 阪急オアシスでのJA雲南による産直市への取組み

平成 15 年度より島根県大阪事務所との連携により、阪急オアシスにて“奥出雲フェア”として産直野菜市を開催。平成 17 年度からは近隣のJA とのコラボレーションによりフェアを「月 2 回」に増やし、平成 20 年には複数店舗で展開し商品アイテム数も拡大している。阪急オアシスでの売上が産直市全体の売上の 13% 占めている。視察に訪れた日も開店直後から多くのお客で店内は賑わっていた。お客は“安心安全”な食べ物を求めており、お客のニーズとマッチしたものである。今後も定期的に継続され、「雲南」ブランドの発信としての取組みが期待される。

阪急オアシス潮江店での  
JA雲南による産直市の様子↓→



### 2. 奥出雲和牛を取り扱う大型スーパーを視察

兵庫県西宮市に本社を置くスーパーマーケット“いかりスーパー”は、関西地区では高級スーパーの代名詞的な存在である。奥出雲和牛の県外出荷の大半を取り扱って頂いている“いかりスーパー”を訪問し、野田畜産センター長、江草副センター長に話を伺った。現在“いかりスーパー”で扱う和牛産地は島根産と山形産で 90% を占めている。奥出雲和牛はあっさりとした淡白な脂質でしつこくなく非常に食べやすいと好評で固定客も付いているということであった。稲わら問題の風評被害も夏に一時落ち込んだが全頭検査により安全性を確認されたことで売り上げも上がってきたという話を聞き安心したところである。肥育センターの縮小という話もあるが、今後も継続して供給していただきたいという要請もあった。



↑いかりスーパーの精肉店売り場



↑いかりスーパーの精肉店売り場

### 3. 小水力発電に取り組む団体を視察

京都市の桂川に掛かる橋“渡月橋”は左京区、右京区を結ぶ重要な橋であるが、長らくこの橋に照明がなかった。地元の任意団体“嵐山保勝会”が関係機関の協力を得て橋の上流部にあたる西高瀬川との分岐部にサイフォン式小型小水力発電機を設置し、そこで得られる電力により夜間帯にLED照明60基で橋を照らしている。また、日中等余剰電力は関西電力へ売電することで維持管理費へ補てんされている。やはり小水力発電に取り組む上で水利権がネックのようである。保勝会でも水利権を取るのに半年かかったそうである。しかし、この小水力発電に取り組むことで地域住民の環境への関心が高まったそうである。小水力発電の売電価格はまだ安く、今後維持修繕等の費用が掛ることが予想され、まだまだ課題が残っているが自家消費の発電としては有効である。



↑研修中の様子



↑サイフォン式小型小水力発電機



小水力発電で発電した電力で点灯するLED照明

#### 4. 智頭町“木の宿”社会実験の取組み

智頭町の取り組む“木の宿プロジェクト”とは、“軽トラックとチェンソーで晩酌を！”を合言葉に、林業に従事したことのない方でも気軽に参加できる内容になっており、軽トラックでも持ち出せる2メートルまでの林地残材を集めてくれば1トン当たり6,000円の地域通貨で買い取る仕組み。地域通貨が流通することで地域経済も元気を取り戻すことが期待されている。22年度は約1ヵ月間の社会実験として行い、目標の150トンを大きく上回る196トンの出荷があり大成功。23年度は1年間を通じ目標出荷量も1,000トンとした第2ステージの社会実験に取り組んでいる最中である。今後の課題として実行委員会の運営資金を如何に確保していくか。脱補助金を如何にするか検討中であった。また、材の活用として現在の“組手什”の他に更なる“第2の組手什”の開発にも取り組まれていた。



↑ 残材の集積場